

東京理科大学新聞

【発行所】
東京理科大学新聞会

<住所>
〒162-0825
東京都新宿区
神楽坂1丁目3番地
2号館 2515 部室

<連絡先>
E-mail
tuspress@gmail.com
HP
http://tuspress.jp
Twitter
@tuspress

基礎工学部創設

30年



▲壇上へ上がり閉会の辞を述べる藤代博記氏（基礎工学部長）

記念式典の開催

本学基礎工学部は5月21日、葛飾キャンパスにて本学部の創設30周年を祝う記念式典を開催した。この慶事を祝おうと、開催場所となった図書館棟大ホールには、本学部に関わる各世代の人が集結し、瞬間に満員となった。理事長挨拶から始まった式典のメインは、本学部を昔から支えてきた人による記念講演であり、各々の学生生活や長方形キャンパスについての思いを語った。

まず講演を行ったのが、藤代博記学長である。「基礎工学部が今日まであるのは、30年間にわたる教員と学生のため努力のおかげ」と1987年より続く管弦楽団のメンバーは、1部と2部の生徒が混在しているうえ、野田や葛飾、神楽坂といった各キャンパスに散らばっている。また、メンバー各自に授業や取り組むべき課題もあるため、平日に集まるのは厳しいようだ。そんな彼らの練習時間は、主に土曜日、日曜日となる。「限られた日数の中、どうやって最大限の成果を出すことができるかを常に考えています」と森井さん。1週間での練習量に限りがあるならば、より長い期間を練習に費やせばいい。管弦楽団は、毎年春と秋に演奏会を開いている。その内容を半年以上前から決

東京理科大学管弦楽団

次の舞台へ！

東京理科大学管弦楽団は5月29日、江戸川区総合文化センターにて「2016年春定期演奏会」を開催した。この演奏会は毎年5月末に行われており、今年度はプロの指揮者である河合良一氏のもと、卒業生を含めた約100人の楽団員が集まった。楽団はベートリヴェン／「エグモント」序曲、ビゼー／交響曲ハ長調、ドヴォルザーク／交響曲第7番ニ短調、アンコールと

7番ニ短調、アンコールと

基礎工学部とは？

本学基礎工学部は、「高度化・専門化・融合化する学問分野に対し、旧来の考え方にもとづく学際的な科学技術の創造」を理念に、1987年に創設された学部であり、電子応用工学科と材料工学科、そして生物工学科が設置されている。本学部には、初年度を北海道の長万部キャンパスで過ごすという特徴がある。1年間の集団生活によって、どのような共同体でも通用する社会性と協調性を持った人間を育てることができるとも評価されており、平成15年度には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に選定された。

「忠臣蔵」を観ていると、大衆の煽りがいかに悪いものなのかが分かる。今では仇敵を討ち取った英雄として知られる赤穂浪士たちは、実際のところ、大衆に踊らされた哀れな被害者だったのだ。▼赤穂藩主の浅野内匠頭が、江戸城の松之廊下で吉良上野介を差し殺した。浅野はすぐさま取り押さえられ、所領没収のうえ処刑される。吉良は額と背中を斬りつけられたが一命を取り留めた。この事件は全国に広まり、たちまち大衆がそれを煽る。「喧嘩は両成敗となるのに、浅野内匠頭しか処罰されていないぞ。浅野の家臣たちはそれでいいのか」▼浅野内匠頭が処刑された理由は、江戸城内で刀を抜いたからであって、吉良と「喧嘩」したからではない。そのことは、赤穂藩士たちもよく理解していた。当初、彼らはあくまで浅野家を存続させることを目標にしており、主君の仇討など考えてすらいなかったという▼しかし太平の世に飽きていた民はこれを許さない。前述の世論を振りかざし、当事者たちを煽っていった。さらに、幕府もこれに応じてしまった。吉良の屋敷を、守りの薄い本所に移したのだ。このお膳立てにより、煽りはさらに熱を帯びる。そして浪士たちは討ち入りを決断することになる▼人々が誰かの煽りに踊らされた結果、無駄な争いが起きる。それは今でも珍しいことではない。特にネットの世界では、もはや日常茶飯事だ。見えない相手への発言は、しばしば無責任な煽りへと変わる。それが政府を動かすというの、まったく変わらない。(耳口干)

- 2 選挙特別紙面
- 3 NPO法人
- 4 他大学インタビュ
- 5 花火大会・小説
- 6 運動免許・旅行
- 7 水族館
- 8 OBIインタビュ
- 9 研究室紹介
- 10 出版甲子園

「リーダーシップを張るような人材にならなければならない」という言葉で締め、本学部の未来へ期待を託した。続く講演者は、「半沢直樹」や「下町ロケット」を世に知らしめた山田孝之氏。山田氏は、「長万部に旅行ではなく共同生活ができたことで、地方への憧れが芽生えた」と感謝を口にした。(山田氏については本誌6面にも掲載)

歴任教員の部では、各教員が赴任時からの思い出を振り返る。中でも参加者の興味を引いたのが、長万部キャンパス創設時より在籍している榎本一之教授の講演だ。榎本教授は、創設時

「オケストラに興味のない人でも、私たちの演奏を聴いて少しでも関心を持ってもらえればと思います」と森井さんは熱を込めてそう語った。



「忠臣蔵」を観ていると、大衆の煽りがいかに悪いものなのかが分かる。今では仇敵を討ち取った英雄として知られる赤穂浪士たちは、実際のところ、大衆に踊らされた哀れな被害者だったのだ。▼赤穂藩主の浅野内匠頭が、江戸城の松之廊下で吉良上野介を差し殺した。浅野はすぐさま取り押さえられ、所領没収のうえ処刑される。吉良は額と背中を斬りつけられたが一命を取り留めた。この事件は全国に広まり、たちまち大衆がそれを煽る。「喧嘩は両成敗となるのに、浅野内匠頭しか処罰されていないぞ。浅野の家臣たちはそれでいいのか」▼浅野内匠頭が処刑された理由は、江戸城内で刀を抜いたからであって、吉良と「喧嘩」したからではない。そのことは、赤穂藩士たちもよく理解していた。当初、彼らはあくまで浅野家を存続させることを目標にしており、主君の仇討など考えてすらいなかったという▼しかし太平の世に飽きていた民はこれを許さない。前述の世論を振りかざし、当事者たちを煽っていった。さらに、幕府もこれに応じてしまった。吉良の屋敷を、守りの薄い本所に移したのだ。このお膳立てにより、煽りはさらに熱を帯びる。そして浪士たちは討ち入りを決断することになる▼人々が誰かの煽りに踊らされた結果、無駄な争いが起きる。それは今でも珍しいことではない。特にネットの世界では、もはや日常茶飯事だ。見えない相手への発言は、しばしば無責任な煽りへと変わる。それが政府を動かすというの、まったく変わらない。(耳口干)

キャリアス就活フォーラム
(career+)

私服で参加できる!

参加申込受付中!
詳しくはWEBで!

東京理科大学のみなさん! = イベント開催のご案内 =

インターンシップのすべてが分かる1日!

「インターンシップ&仕事研究」

7/16 (土)

ベルサール渋谷ガーデン
JR線、東急線、東京メトロ 銀線・半蔵門線・副都心線
[渋谷駅] 西口徒歩10分 / [井の頭線「神泉駅」] 南口徒歩6分

OPEN 11:00 CLOSE 18:00
[ソーシャルパーティー 17:00~18:00]

キャリアス就活2018
<https://job.career-tasu.jp/2018/>

社会人と気軽に話せる

自分に合うプログラムに出会える!

ノウハウ講座も充実!

インターンシップイベント参加者数 **No.1***

*2015/6 ~ 2016/2 開催全国のべ参加者数